

一般財団法人 日本スポーツ政策推進機構

Nippon Sport Policy Commission (NSPC)

〒160-0013東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE

1

役員等一覧

顧問

似鳥 昭雄 ニトリホールディングス代表取締役会長
河村 建夫 元 内閣官房長官

評議員

安藤 久佳 元 経済産業事務次官
上治 丈太郎 鹿屋体育大学経営協議会委員
岡本 薫明 元 財務事務次官
尾形 武寿 日本財団理事長
蒲原 基道 元 厚生労働事務次官
國井 隆 公認会計士
嶋津 昭 元 RWC2019組織委員会事務総長
田辺 陽子 日本大学教授
樽床 伸二 元 総務大臣
藤原 誠 東京国立博物館館長
ユージ・セッターラント 元 日本スポーツ協会常務理事
森 昌文 元 国土交通事務次官

監事

高田 佳匡 弁護士
福島 弦 SANU CEO

理事

| | | |
|------|--------|-----------------|
| 会長 | 遠藤 利明 | スポーツ議員連盟役員 |
| 副会長 | 橋本 聖子 | 日本オリンピック委員会会長 |
| 副会長 | 森 和之 | 日本パラスポーツ協会会長 |
| 理事長 | 河野 一郎 | 筑波大学名誉教授 |
| 専務理事 | 坂本 典幸 | 元RWC2019組織委員会役員 |
| 常任理事 | 境田 正樹 | TMI総合法律事務所パートナー |
| 常任理事 | 谷本 歩実 | 名城大学特任教授 |
| 常任理事 | 友添 秀則 | 環太平洋大学教授 |
| 常任理事 | 福井 烈 | 元日本テニス協会専務理事 |
| 理事 | 青島 健太 | スポーツ議員連盟役員 |
| 理事 | 赤間 高雄 | 早稲田大学教授 |
| 理事 | 池田 めぐみ | オリンピック |
| 理事 | 伊藤 華英 | オリンピック |
| 理事 | 上村 春樹 | 講道館長 |
| 理事 | 浮島 智子 | スポーツ議員連盟役員 |
| 理事 | 勝田 隆 | 東海大学教授 |
| 理事 | 鈴木 寛 | 東京大学教授 慶応義塾大学教授 |
| 理事 | 田口 亜希 | パラリンピアン |
| 理事 | 田嶋 幸三 | 日本サッカー協会名誉会長 |
| 理事 | 馳 浩 | 石川県知事 (元文部科学大臣) |
| 理事 | 宮内 秀樹 | スポーツ議員連盟役員 |
| 理事 | 笠 浩史 | スポーツ議員連盟役員 |

* 2025年12月 / 五十音順

2

NSPCの目指すもの

スポーツ界の横断的連携を図る組織として、
 国、経済界、関連組織と
 スポーツ界との連携・協働する場を構築し、
 スポーツ政策を提言・推進する

特別会員

日本スポーツ協会(JSPO)
 日本オリンピック委員会(JOC)
 日本パラスポーツ協会(JPSA)



一般会員

国内競技団体
 都道府県スポーツ協会 他
 109団体（2025年5月現在）

賛助会員

当法人の趣旨に賛同する法人
 53社（2025年6月現在）内 協力会社 5社

3

一般財団法人 日本スポーツ政策推進機構 (NSPC)

役員構成

法律をつくる者
 政策を推進する者
 スポーツを実施・振興する者

会員構成

スポーツ統括組織
 &
 賛助会員（企業）

協働の場
 日本スポーツ会議

スポーツ界に
 モメンタムを

政策の研究・提言
 日本スポーツ政策研究所

課題を分析し
 提言へ

提言の具体化と推進
 分科会／プロジェクト

政策の具現化

立国人材の育成
 スポーツ立国推進塾

人材の育成

日本スポーツ会議

【日本スポーツ会議とは】

「日本スポーツ会議」とは、日本のスポーツ関係者が一堂に集い、国・自治体・経済界等と連携し、スポーツによる社会の発展や、課題解決に向けた議論を行うと共に、社会課題の解決やよりよい未来づくりのために、スポーツの価値を最大限に活用するスポーツ政策について協議・提言・推進する会議体。

【日本スポーツ会議の運営】

事務局として登壇者アレンジ、参加者の募集、オンライン配信・アーカイブなどを行う。

【日本スポーツ会議2023（2023.01.23）】

全体テーマ：新しい地域スポーツの創造

提言2023

新しい時代における地域スポーツの創造を目指して

新しい時代における地域スポーツを創造するための7つの提言

- 提言1. 新しい地域スポーツのしくみづくりの推進
- 提言2. 新しい時代にふさわしいスポーツ大会の創造
- 提言3. インクルーシブな社会へ、スポーツをもっとインクルーシブに
- 提言4. スポーツ指導者等の資質向上およびその質の保証に関わる体制の充実
- 提言5. スポーツ・インテグリティの保護・強化
- 提言6. スポーツの価値の普及・推進
- 提言7. 社会環境の多様な変化への速やかな対応

【第二回：日本スポーツ会議2024（2024.01.15）】

全体テーマ：新たなスポーツへの挑戦

提言2024

新たなスポーツへの挑戦を推進するための5つの提言

- 提言1. スポーツ基本法改正の実現
- 提言2. スポーツ推進のための財源の確保と拡充
- 提言3. 国際貢献・国際連携に資する国際競技大会等への戦略と
国内競技大会の変革
- 提言4. 地域でのスポーツ参画人口の拡大
- 提言5. スポーツ指導者等の育成及びトレーナー資格の
国家資格化と職域拡大

5

【第三回：日本スポーツ会議2025（2025.01.20）】

全体テーマ：スポーツ基本法改正について～スポーツ立国のさらなる推進に向けて～

祝辞：石破茂 内閣総理大臣
あべ俊子 文部科学大臣

基調講演：遠藤利明 NSPC会長

「スポーツを通じた社会開発」橋本聖子 NSPC副会長
「スポーツを通じたより良い社会の実現」室伏広治 スポーツ庁長官

2025年の年頭にあたり：JPSA 森和之会長/JSPPO 益子直美副会長/JOC 三屋裕子会長代行

活動報告：NSPC/東京2025世界陸上/東京2025デフリンピック/アジア競技大会2026

講演：「スポーツの現在地」①山本浩（JSPPO常務理事） ②鈴木寛（東京大学/慶応義塾大学教授）

パネルディスカッション：「スポーツ基本法改正に向けて」

ファシリテーター 鈴木寛（東京大学/慶応義塾大学）
パネリスト 友添秀則（環太平洋大学）、木村弘毅（株式会社MIXI）

田口亜希（日本財団パラスポーツサポートセンター）、谷本歩実（名城大学）

発表：「日本スポーツ会議提言2025」

提言2025

- 提言1. スポーツを取り巻く社会環境への対応
- 提言2. スポーツを通じた社会の成長と
社会の課題解決の推進
- 提言3. スポーツ・インテグリティの強化
- 提言4. 多様なスポーツの機会の拡大
- 提言5. 国際・国内競技大会の推進・展開
- 提言6. 地域スポーツのさらなる推進



6

スポーツ界の課題を取り上げ、スポーツ界や経済界などの専門家による整理、調査、研究を行い、プロジェクトとしてまとめ、NSPCとして政策提言する。

【活動】

- ・スポーツ政策に関わるテーマを検討しプロジェクト／分科会を設立
- ・テーマごとにプロジェクト／分科会の座長と委員（若干名）を設定
- ・各テーマの政策課題を整理 調査 研究を行い、必要に応じてプラットフォームを創設
- ・提言案を討議の上まとめて政策提言を行う

【研究委員】 * 共同委員長

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| * 鈴木寛（東京大学・慶応義塾大学） | 真田久（筑波大学） |
| * 友添秀則（環太平洋大学） | 杉田正明（日本体育大学） |
| 佐々木康（名古屋大学） | 原晋（青山学院大学） |
| 赤間高雄（早稲田大学） | 高橋道和（放送大学学園） |
| 勝田隆（東海大学） | 高橋義雄（早稲田大学） |
| 久木留隆（JSCハイパフォーマンスセンター） | 田辺陽子（日本大学） |
| 久野譜也（筑波大学） | 中村伊知哉（情報経営イノベーション専門職大学） |
| 境田正樹（TMI総合法律事務所） | 吉田智彦（笹川スポーツ財団） |
| 佐野慎輔（尚美学園大学・笹川スポーツ財団） | 吉永武史（早稲田大学） |

スポーツ政策推進プロジェクト

スポーツ基本法改正検討委員会

スポーツホスピタリティ分科会

eスポーツ分科会

スポーツDX共創会議準備委員会

スポーツファンエンゲージメント分科会

スポーツコンプレックス将来構想分科会

地域スポーツプロジェクト

トレーナー公的資格化プロジェクト

スポーツによる災害支援復興会議

スポーツと文化／アート分科会（経済同友会と連携）

アンチ・ドーピング政策推進プロジェクト

アスリート等を違法行為から護る研究会

スポーツ振興財源についての研究会

スポーツ政策へ

スポーツ政策推進人材育成事業 ～スポーツ立国推進塾の運営～

【目的】

スポーツ政策の社会的役割を学習することで、スポーツの持続的発展を支える人材の育成とネットワークを形成する。

【スポーツ立国推進塾の運営】

事務局として、塾生の募集、講師アレンジ、ネットワーキング企画などを行う。

【スポーツ立国推進塾とは】

スポーツ立国を推進するため、将来のスポーツを担う人材の育成と、広くネットワークを形成することを支援するため、2018年よりスタート。今まで、第1期生から第6期生まで約250名の塾生が学んだ。2025年6月より第7期を開始予定。（塾生約60名）

スポーツ立国推進塾における議論が掲載



9

スポーツ政策の情報発信

【目的】

新型コロナウイルス感染拡大によるスポーツ活動の自粛を契機に、コミュニケーションの機会が減り、スポーツ団体間に情報格差が生じている。特に、政府や国会関連のスポーツ政策に関わる情報がスポーツの現場や地域に伝わり難くなっている。

スポーツ立国を目指すため、スポーツに関わる政策関連情報を発信し、スポーツ基本法の理念に賛同する組織を登録し新たなプラットフォームを構築する。

【活動】

Sport Policy Update（隔週1回配信）

スポーツ庁をはじめ、省庁、JSPO、JOC、JPSA、NF、IFなどが公開する情報や超党派スポーツ議連、国会での関連情報を配信。

Sport Global News（隔週1回配信）

オリパラ組織委員会、国際大会組織委員会をはじめとした国際的なスポーツ関連情報の翻訳記事及び世界のスポーツ豆知識を専用サイトで配信。



10

【目的】

スポーツに関わりのある各界のリーダーにインタビューし、スポーツを取り巻く状況について大所高所からのご意見、スポーツの価値や可能性、今後取り組むべき事項を伺い、そのインタビュー動画を配信。

インタビュー対象者は、スポーツ議員連盟の国会議員、スポーツ界、スポーツ統括団体、経済界やメディアの方々。

【インタビューテーマ】

- ・スポーツとの関わり
- ・スポーツ政策
- ・今、傾注／注目しているスポーツ関連事項
- ・スポーツ関連トピックス 等

【配信中動画】

| | | | | | |
|------|--------|------|---------|------|--------------|
| 第1回 | 遠藤利明 | 第13回 | 室伏広治 氏 | 第25回 | 山口祥義 氏 |
| 第2回 | 有森裕子 氏 | 第14回 | 野々村芳和 氏 | 第26回 | 松浪健四郎 氏（対談） |
| 第3回 | 馳浩 氏 | 第15回 | 三屋裕子 氏 | 第27回 | 薬師寺道代 氏 |
| 第4回 | 山下泰裕 氏 | 第16回 | 高田春奈 氏 | 第28回 | 尾縣貢 氏 |
| 第5回 | 橋本聖子 氏 | 第17回 | 島田慎二 氏 | 第29回 | 増田寛也 氏 |
| 第6回 | 嶋津昭 氏 | 第18回 | 森和之 氏 | 第30回 | ヨーコ・ゼッターランド氏 |
| 第7回 | 田川博己 氏 | 第19回 | 土田雅人 氏 | 第31回 | 深澤祐二 氏（近日公開） |
| 第8回 | 泉正文 氏 | 第20回 | 玉塚元一 氏 | | |
| 第9回 | 福井烈 氏 | 第21回 | 鈴木大地 氏 | | |
| 第10回 | 河合純一 氏 | 第22回 | 原晋 氏 | | |
| 第11回 | 上村春樹 氏 | 第23回 | 浮島智子 氏 | | |
| 第12回 | 田嶋幸三 氏 | 第24回 | 高橋和子 氏 | | |



一般財団法人日本スポーツ政策推進機構

日本スポーツ政策推進機構（NSPC）では、今般のスポーツ基本法改正にあたり、検討委員会を設立し提言をとりまとめた。今後、スポーツ基本法の改正を受けて、「改正スポーツ基本法を受けたスポーツ振興検討会議（仮称）」を設置し、下記の課題について検討を行うものとする。

課題：

0. 改正スポーツ基本法に関するスポーツ団体の理解促進
1. 部活動などを含めて地域スポーツをどう発展させるのか（第 17 条）
2. アスリートや審判を守る体制をどう整備するか（第 29 条）
3. デフリンピックを含めた障がい者スポーツの発展（第 26 条）
4. スポーツ医科学の統合と実践（第 16 条）
5. e スポーツ & マインドスポーツの推進（第 24 条）
6. 多様なスポーツ振興に必要な財源の確保（第 36 条）

また、スポーツのすそ野を広げるために民間スポーツ活動振興方策を検討する。

NSPC は今まで、スポーツ政策推進プロジェクトを実施し、骨太方針や予算化へつなげてきた。引き続き「スポーツホスピタリティ」「トレーナー公的資格化」「スポーツによる災害支援」「アンチ・ドーピング政策推進」「スポーツと文化/アート分科会」等について検討する予定である。更には、国際スポーツ政策フォーラムも開催する予定である。

以上